横 浜 市 記 者 発 表 資 料

平成 29 年２月 24 日
政策局共創推進課

第50回アジア開発銀行(ADB)年次総会横浜開催　連携事業

共創オープンフォーラム「ソーシャルインパクト・フォーラム ヨコハマ」を開催

横浜市では、市民、企業、ＮＰＯ、大学等の民間の皆様と行政が互いに知恵とノウハウを出し合い、限られた資源を活用しながら、社会的な課題や地域課題の解決を目指す**「共創（公民連携）」**の取組を進めており、公民の対話、交流の場として、「共創オープンフォーラム」を開催しています。

新たな公民連携の取組として、欧米を中心に広がりをみせている「社会的インパクト投資」について、先進国イギリスをはじめ、国内外の第一線で活躍する専門家をお招きし、具体的な事例を共有し、横浜の取組を含め幅広く発信します。

開催概要

〈過去のフォーラムの様子〉

■日時
４月 22 日（土）12 時 30 分から 18 時まで

■会場
パシフィコ横浜 会議センター　５階 503
（西区みなとみらい１－１－１）

■申込み（下記サイトにて）
http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kyoso/forum/

プログラム及び登壇者

■第１部【基調講演】
「ソーシャル・インパクト・ボンドの世界的動向～神話と現実～」
アレックス・ニコラス 氏（英国：オックスフォード大学サイード・ビジネススクール教授）
〈コメンテーター〉
チー・ホーン・シン 氏（英国：ＯＰＭ※1事業開発マネージャー）
金子 郁容 氏（慶應義塾大学 名誉教授、明治大学経営学部 特任講師）

■第２部【ケーススタディ】
イギリス等先進国でのソーシャル・インパクト・ボンドの事例や、日本の現状、横浜市における社会的インパクト評価モデル事業について、プレゼンテーション及びパネルディスカッションを実施します。

〈登壇者（予定）〉
ミッシェル・ファレル・ベル 氏（英国：ティーンズ・アンド・トドラーズ※2）
ポール・ホプキンズ 氏（英国：ティーンズ・アンド・トドラーズ）
ダン・ハード 氏（英国:トリオドス銀行※3）
ルース・ローレンス 氏（豪州:ＫＰＭＧ※4）
濱田 静江 氏（社会福祉法人 たすけあい ゆい※5理事長）
塚本 一郎 氏（明治大学経営学部　教授）

※1～5 について
次ページに説明があります。

〈モデレーター〉
金子郁容 氏

【次ページあり】

※1　ＯＰＭ（英国：Office for Public Management）
コンサルタントと調査・研究を行う団体であり、公共サービスが公益に沿うよう適切に設計されているか調査・評価している。英国国内のＳＩＢの第三者評価にも従事。

※2　ティーンズ・アンド・トドラーズ（英国：Teen & Toddlers）
英国マンチェスター州の NPO（チャリティ団体）。2011 年雇用年金省（Department for Work & Pensions: DWP）が公募し採択された SIB スキームの１つで、14 歳から 16 歳までの若者のニート予防のため、行動改善・学習支援手法を取り入れたプログラムを実施した。このプログラムは、2015 年７月に、世界的で初めて投資家への支払い可能なアウトカムを達成した SIB の１つとして全世界から注目されている。

※3　トリオドス銀行（英国：Triodos Bank）
オランダを本拠地に置き、オランダ、イギリス、ベルギー、スペインに拠点を持つ、社会起業支援に特化した金融機関。融資先を「社会的側面、経済的側面、文化的側面の付加価値を創出し、持続可能なセクターで活動していること」を基準に限定している。
2011 年雇用年金省が公募し採択された SIB スキームの１つで、英国マージーサイド州における失業中の若者へ介入する「ニュー・ホライズン・プログラム」を実施。

※4　ＫＰＭＧ（豪）
オランダに本部を置き、監査、税務、アドバイザリーサービスを提供するプロフェッショナルファームのグローバルネットワーク。オーストラリアにおける民間資本活用手法「ソーシャル・ベネフィット・ボンド（SBB）」の初の事例である、ニューサウスウェールズ州家族・コミュニティサービス省（UnitingCare Burnside:UCB）が公募し実施した、児童養護施設等の支援を受けている子どもを安全に家庭へ戻すための支援と犯罪常習者対策について、事業を受託し実施。

※5　社会福祉法人 たすけあい ゆい
たすけあいグループ結として、1991 年に設立された有償ボランティア市民グループから始まり、現在では、地域ケアプラザの運営、高齢者福祉事業、障害者福祉事業、児童福祉事業を行う。
主な活動場所は、横浜市南区、磯子区。平成 28 年 10 月、横浜市で始まった、「社会的インパクト評価モデル事業」のサービス実施団体として、子どもの居場所づくりに取り組む。

基調講演登壇者プロフィール

アレックス・ニコラス教授（Professor Alex Nicholls）
オックスフォード大学サイード・ビジネススクールでソーシャル・アントレプレナーシップやソーシャル・イノベーションの研究に携わる。ソーシャル・インパクト・ボンド等のインパクト投資、フェアトレード等が主な研究テーマ。「Social Finance」（Oxford University Press,2015・共著）、「Social Entrepreneurship」（Oxford University Press,2006/Sage,2005・共著）など著書多数

<コメンテーター>

チー・ホーン・シン（Dr Chih Hoong Sin）
OPM の事業開発ディレクター。エセックス県での SIB を始め様々な SIB プロジェクトの評価を行っている。政府内の SIB に対する理解を広めるために、英国内閣府が主催する委託業務に関するアカデミー内の SIB に関する特別講座を担当。またブリッジズ・ベンチャーズとバンク・オブ・アメリカ・メリルリンチが発行した SIB の実務家向け案内書「Choosing Social Impact Bonds: A Practioner’s Guide」の作成に関わった。

金子　郁容
ウィスコンシン大学准教授、一橋大学教授などを経て 1994 年から慶応義塾大学教授、2014 年度から明治大学経営学部特任講師。専門はネットワーク論・コミュニティ論・医療 ICT 等。主な著書に「ボランティア　もうひとつの情報社会」（岩波新書）、「ソーシャルインパクト・ボンドとは何か」（共著、ミネルヴァ書房）、「スポーツのちから　－　地域をかえるソーシャルイノベーションの実践」（共著、慶応大学出版会）等がある。

お問い合わせ先		
政策局 共創推進課長	梅澤 厚也	Tel 045-671-4394

※本事業は、平成 29 年度予算が横浜市会において議決されることを停止条件とします。